

## 有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「物流分野における高度人材の育成・確保に関する調査研究」	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：黒川 久幸氏 東京海洋大学 理事・副学長 矢野 裕児氏 流通経済大学・大学院 教授 西成 活裕氏 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 河合亜矢子氏 学習院大学 経済学部 教授	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文理横断型での学びと、理論 x 実践での継続習得が必要であることについて</li> <li>・ 高度物流人材が持つべき視点として、サプライチェーン全体最適視点や、社会全体像からの視点が必要である。DX化が取り沙汰されているが、物流やロジスティクスの部分最適だけに限定されてしまう事への懸念がある。</li> <li>・ 科目等履修制度、オンライン形式、プラットフォーム等の活用について（進める方法）。コロナ禍でオンライン体制が普及して、チャンスが生まれている一方で、例えば動画のコピーが容易に出来たり、作成するのに手間がかかるというデメリットも指摘され、更にはセキュリティ面などでの注意も必要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な考え方として、文理横断型での学び、文系、理系両方の要素が求められること、理論と実践、両輪での習得が求められることを示した。</li> <li>・ アンケートやヒアリングで、デジタル化の対応が喫緊の課題とされている中で、それが非常に重要でありながらも、ロジスティクスやサプライチェーンの全体像把握の重要性に関する意見も多く見られた。部分的、専門的な学びだけでなく、社会全体の動きなども踏まえた上での学びも必要であることを、まとめの部分で言及した。</li> <li>・ 検討にあたっては、現存する制度やツールを活用してみるのはいかがでしょうか、という考えのもとで、どの方法にもメリット、デメリットの双方があるため、慎重かつ丁寧な議論が必要であることを、まとめの部分で言及した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>